

1号トンネル、小千谷頭首工の進捗

■ 試験通水について

令和5年4月15日、16日に試験通水を行いました。通水に先立ち、通水の無事や今年の豊作を祈願する神事が行われました。

15日午前9時、改修工事を行った小千谷頭首工から1m³/sの取水を開始し、徐々に取水量を増やしました。13時過ぎに小千谷頭首工の取水樋管から1号幹線用水路全体に用水が流れはじめ、2号幹線用水路への通水を行って夕方には終了しました。翌日は下流地区への通水を開始し地区内に50箇所以上ある揚水ポンプ場の試験運転が順次行われ、試験通水を終わりました。

21日からは代かき用水の期間となり、本格取水が始まりました。深夜0時過ぎから徐々に流量調整ゲートの開度を上げ毎秒11トンまで慎重に増量しました。小千谷頭首工の樋管内に設置した水位を一定に保つための調整ゲートも効果を十分に発揮し、安定した通水が開始されました。

一部構造物が完成していない区間があるので、引き続き本年度中の完成を目指し工事を進めていきます。



写真1 神事の様子



写真2 開門の様子

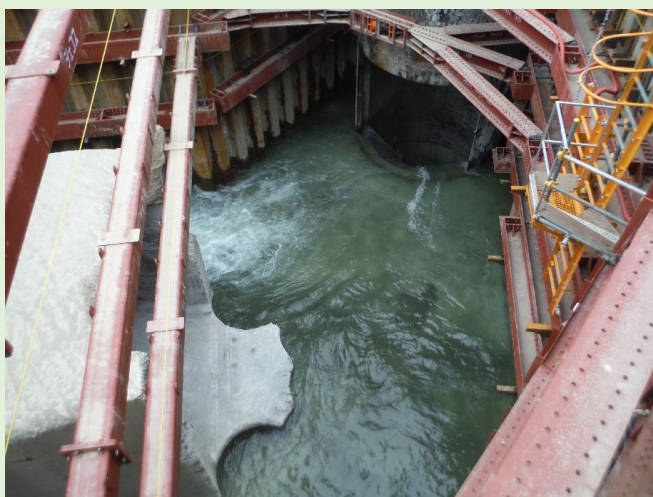


写真3 通水の様子

三古の水だより

〈発刊所〉

信濃川左岸流域

農業水利事業所

〒940-0082

新潟県長岡市千歳

1丁目3番88号

(長岡地方合同庁舎6F)

TEL: 0258-31-1011



■ 小千谷頭首工工事進捗

令和5年3月に新小千谷頭首工の門柱部に新しい操作室を建設しました。操作室には取水ゲートを開閉する機械や遠隔監視操作を行う機器が配置されています。5月からは二重締切本体部の撤去工事が始まっています。今後は、引き抜き二重締切撤去を行い護岸復旧、管理橋設置を進めていきます。



「三古の水だより」とは？

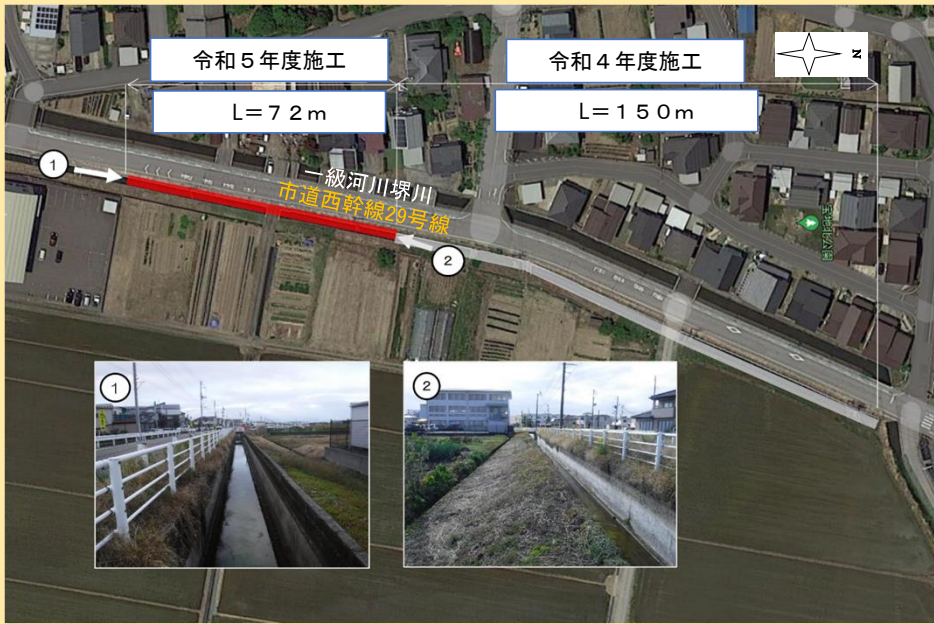
北陸農政局信濃川左岸流域農業水利事業所が発刊する広報誌です。題字になっている「三古」とは、前歴事業（一期事業）信濃川左岸農業水利事業の原形である昭和20年に樹立した「三古用水改良事業計画」から引用した言葉です。

ちなみに、「三古」は三島郡の「三」と古志郡の「古」より出た本地区を表すものです。

また、当地区は、三度目の国営事業ということもあり、「三」にとても縁が深い地区としてこの題字としました。

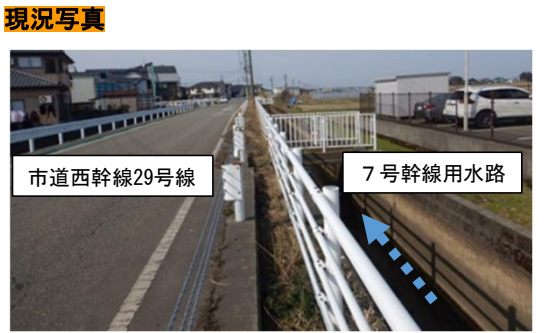
令和5年度実施工事

7号幹線用水路宝地工区その2工事



施工場所：新潟県長岡市宝地町地内ほか

工事概要：
既設水路の老朽化に伴い矢板護岸による改修、水路上部を歩道化する工事を行います。
令和4年度は、150mを施工しました。令和5年度は引き続き、72mの施工を予定しています。



共同工事

- 長岡市道西幹線29号線は日越小学校の通学路となっていますが、歩車道が分離されていません。
- 用水路の上部を歩道として利用できるよう、長岡市との共同工事を実施しています。



工事の流れ

